

CONTENTS

- 2 遊んで学ぶ自然教室 親子エコくらぶ
「竹でマイ箸を作ろう」
- 4 県政フラッシュ
- 特集1
6 沖縄21世紀ビジョンの概要
- 特集2
8 リサイクル製品を使用しましょう
- 特集3
10 振り込め詐欺を撲滅しよう！
- 12 守りたい自然 ～おきなわの彩鳥(いどり)～
サンバ
- 14 仕事の現場ウォッチング
金融のシゴト(銀行員)
- 16 県のうごき1
インターネット公売
- 17 県のうごき2
個人住民税の特別徴収
- 18 情報ひろば お知らせ
- 20 輝け!わたしたち島の未来「沖縄元気プロジェクト」
読谷村

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について



沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝える冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課

TEL.098-866-2020

http://www.pref.okinawa.jp/churahome/



2月のテーマ★「竹でマイ箸を作ろう」

お箸の長さは どのように決める？

最近はお年寄りから子どもまで、エコの意識が高まってきています。外食時は割り箸を使わずに、「マイ箸」を持ち歩いている人も多いのではないのでしょうか。今回は勝連俊太朗くん(小三)親子が竹でマイ箸作りチャレンジしてみます。まずは、材料の竹を用意します。今回は、ご近所の庭から余った竹をもらって



生まれて初めて使うなかにドキドキ

磨いて仕上げます。「うわっ！ツルツルになった！全然違うね」と大喜びの二人。最後に、防水・防虫・防菌・抗菌・消臭効果がある柿渋を塗ります。柿渋は天然素材なので、口の中に入っても健康には問題ありません。乾いたら完成！自分で作ったマイ箸で食べるご飯は、いつもよりおいしく感じられるかもしれませんね。



柿渋を塗ると、使っているうちにきれいな深い色に変化します

「マイ箸」のつくりかた

◇用意するもの◇

竹、のこぎり、なた、カッター、ものさし、はけ、紙やすり、柿渋



1 L字にした親指から人差し指までの対角線の長さ×1.5倍を、箸の長さにする。



2 のこぎりで竹を切り、なたで4つに割る。



3 カッターで丸く削る。



4 紙やすりで仕上げ、柿渋を塗って乾いたら完成！



苦労して削ったマイ箸が完成！

今月の先生



「自然体験 うみゆくい」海辺のインタープリター
千野 精一郎さん

学生時代に訪れた沖縄が忘れられず、移住。2008年、自然体験やエコツアーを案内する「自然体験 うみゆくい」をオープン。スノーケリングインストラクター、海辺の自然体験活動リーダー(CONEリーダー)など、多数の資格を持つ。

TEL: 050-1505-8873
URL: http://umiyukui.ti-da.net

カッターをあまり使ったことがない俊太朗くんは、なかなかうまく削ることができません。力を入れすぎて手も痛くなってきたようです。「無理に削ろうとするとケガをするよ。竹をくるくる回しながら、表面を滑らせるように削ってみよう」と、千野先生がアドバイス。見かねて手伝おうとするお父さんに「自分でやる！」と断り、真剣に取り組む俊太朗くん。納得がいくまで、じっくりゆっくり竹を削っています。苦労したがいあって、きれいに角が取れて持ちやすいお箸ができました。次は、紙やすりで

きました。理想的な箸の長さは、自分の利き手の親指と人差し指をL字に開いたときの親指と人差し指の先を結んだ対角線の長さ×1.5倍だといわれています。ものさしで測ってみると、俊太朗くんは十六センチ、お父さんは二十四センチでした。やっぱりお父さんの手は大きいですね。

長さが決まったら、のこぎりで竹を切り、なたで四つに割ります。日曜大工はあまりしないと云うお父さんですが、なかなかの腕前です。なたを初めて使う俊太朗くんは、ちょっと緊張気味。「竹はたてに繊維があるので、スリットと割れやすいです。手を切らないようにご注意ください」と千野先生。



身近にある地元の素材を使って昔ながらの遊びに挑戦する「うちななく流エコ」。お日様や風を感じて、親子で一緒に遊びながら沖縄の豊かな自然を再発見してみよう！

監修/NPO法人沖縄ホールエイズ研究所

カッターを使って 竹を削ろう



刃物を使う時は周りにも注意！